

指令 1 ずけいと 図形のナゾを解け!

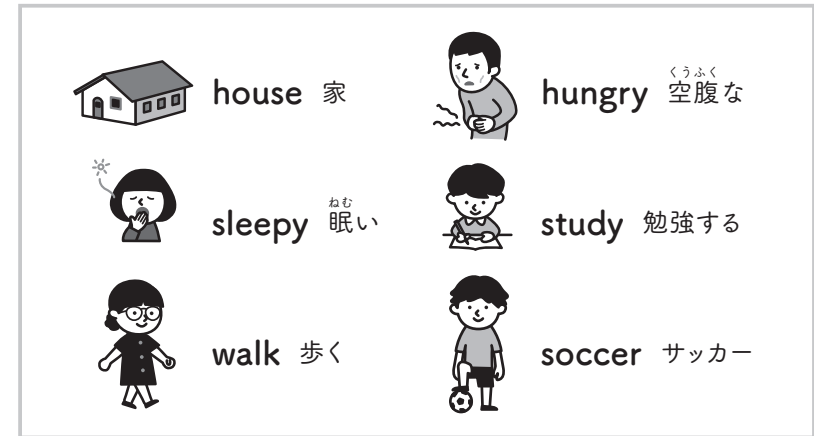
次の語はある法則にしたがって、○□△に分けられている。

CD Track 02
DL Track 002



それでは、この法則の通りに次の単語を○□△に分類するとどうなるか、推測せよ。

CD Track 02
DL Track 002



「うーん、いきなり難しいなあ」

「きっと、同じグループの単語には共通点があるんじゃないかしら」

「そっか。じゃあ、まずは、○□△の単語をよく見てみよう」

「どんなふうにするのかも考えてね」

Practice 1 意味を考えてみよう!

まずは語順から意味を考える練習だ。日本語と〇□△▽を手がかりにしながら、次の英文の意味を当てよう。

① My dog is hungry.

私の犬 である 空腹な

CD Track 04
DL Track 005

② Maiko wears a red ribbon every day.

マイコ 身につけている 赤いリボン 毎日

③ The monster defeated the hero.

その怪獣 倒した ヒーロー

④ This penguin runs very fast.

このペンギン 走る とても速く

⑤ My game character can cast great spells.

ぼくのゲームキャラ かけられる すごい呪文

むずか
難しい単語は日本語を見てね。あと、
日本語でへんでも気にしちゃだめよ。
英語では、そう言うんだって思ってね。



Practice 2 英語で言ってみよう!

次は、英語を話す練習だ。次の絵を見て、「私は～します」と英語で言ってみよう。「私は」「ぼくは」はI(アイ)を使う。わからなかったら下のヒントを見てもよい。音声も聞こう。

例



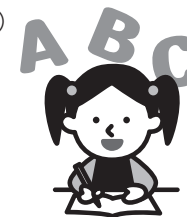
I play soccer.

ぼくはサッカーをする。

①



②



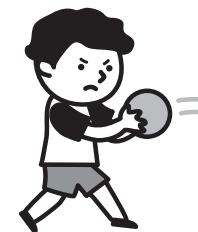
③



④



⑤



ヒント

CD Track 05
DL Track 006

- ①「食べる」eat 「朝食」breakfast ②「勉強する」study 「英語」English
③「起きる」get up 「7時に」at seven ④「お風呂に入る」take a bath
⑤「ドッジボールをする」play dodgeball

指令 3 aとsのナゾを解け!

以下に、絵とそれを表した単語が書かれている。だが、よく見ると単語の前に a が置かれていたり、後ろに s がつけられていたりしている。絵と単語を見比べて、a や s がいつ必要なのかルールを考え、次の問いに答えよ。

CD Track 13
DL Track 015



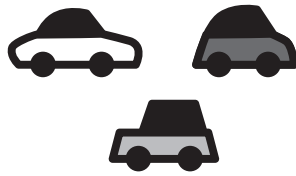
a pen



pens



a car



cars



water



water

- ① a はどんなときに必要なのか。
- ② s はどんなときに必要なのか。
- ③ water はなぜ a も s もつかないのか。



「これがさっき言った a だよ。うーん、^{むずか}難しいな」



「a が前に置かれている名詞と、後ろに s がくっついてい
^{めいし}る名詞のちがいは何かしら」



「もしかしたら、数に関係があるのかも」



「左側が1つで、右側が2つ以上あるってことよね。でも、water は量が増えても、左と右で形が変わってないわ」



「うむ。water は car や pen とは異なる^{こと}使い方だったのを覚えているかな？」

はかせ 博士の トリビア



1つでも複数!?

あるものが2つ以上あるときにsをつけるという話をしたよね(複数形)。

a book → two books
1冊の本 2冊の本

だけど、日本語では1つの物として扱うのに、英語ではsがついて複数扱いするものがある。これは、2つの同類の部品がくっついてできているものによく起こるんだ。例を出そう。

glasses メガネ → 1つのメガネでも複数形
レンズが2枚あるから。

trousers ズボン → 1着のズボンでも複数形
足が2本だから。

scissors ハサミ → 1つのハサミでも複数形
刃を2つ使って作られているから。

1つの物なのに複数扱いなんて変わってるだろう?

ちなみに、ズボンとちがって、shirt「シャツ」やjacket「ジャケット」はうでが左右2つあっても単数扱いなんだ。ズボン足が2本あるから複数形なのに「へんなの」と思うよね。

一説には、昔のズボンは、足の部分がくつ下のように左右バラバラになっていて、それを1つずつはいてから腰のところでつなげたことによるものと言われている。逆に、シャツは最初から袖と体の部分が別々になっていなかったで、1つの衣類としてそのまま単数形になったという説があるんだ。

さて、英語にはこの他に、左右のペアで使うものがある。普通は同じものを2ついっしょに使うので複数形になるが、片方だけを指すときは単数で使うことになる。

左右両方を指す場合		片方だけ指す場合
shoes	くつ	shoe
sandals	サンダル	sandal
socks	くつ下	sock
earrings	イヤリング	earring
gloves	手袋	glove

これを見れば、どれだけ英語は数にこだわりがあるかがわかるよね? 日本語にはない考え方だけど、1つか、それより多いのか、または、数えられないのか。数を意識すると英語がものすごくうまくなるよ。

ナゾ解きクイズ 1-A

ほうそく
ハナコの法則 ①

ハナコは、英語を学び始めたばかりの5才の女の子だ。彼女はいつも単語を覚えると、「好き」「きれい」「どちらでもない」に分けている。今日は次の通りだった。



eat は好きだけど、apple はきれい。
get は好きだけど、book はきれい。
happy はどちらでもない。
sad はどちらでもない。

それでは、ハナコのルールにしたがって、次の単語を「好き」、「きれい」、「どちらでもない」に分けるとどうなるだろうか。

buy 「買う」
pencil 「えんぴつ」
hungry 「空腹な」

ナゾ解きクイズ 1-B

ぬす
盗まれる絵は？

悪名高い大どろぼうである怪盗ポペンから、美術館に英語で書かれた予告状が届いた。その中で彼は、apples が描かれた絵を盗むと予告していた。

あいにく、美術館にはリンゴを題材とした絵が、全部で3枚あった。絵を守るためには、どれが狙われているのかを知る必要がある。

はたして、次のうちの絵を盗みにくるのだろうか。

